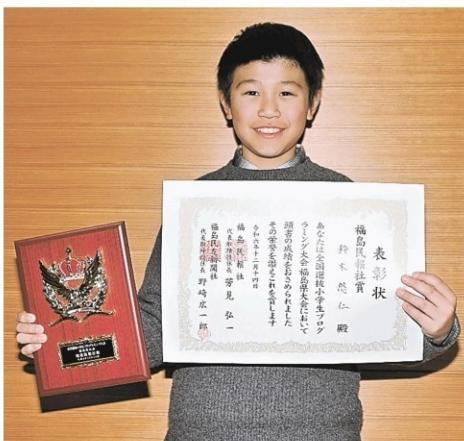


# 若林さん(磐崎) 2年連続 最優秀

## 鈴木さん(須賀川一) 民報社賞



最優秀賞に輝いた若林さん



福島民報社賞に選ばれた鈴木さん

田 小4年)  
最優秀賞、福島民報社賞  
以外の成績は次の通り。  
▽県情報産業協会賞(絶滅救命  
チーム)△金谷獅音(大塚千聖、広  
野笑理(喜多方市・上三富小6  
年)△△△アイディア賞△蛭田亮(い  
わき市・菊田小6年)△福島民友  
新聞社賞△蛭田駿(いわき市・菊

全国選抜小学生プログラミング大会は14日、南相馬市原町区の福島ロボットテストフィールド(ロボテス)で開かれた。若林玲子さん(いわき市・磐崎小4年)が2年連続で最優秀賞に選ばれ、全国大会出場を決めた。福島民報社賞には鈴木悠仁さん(須賀川市・須賀川一小6年)

## 全国小学生プログラミング県大会 南相馬

が選ばれた。

県大会は福島民報社などでつくる実行委員会の主催。全国新聞社事業協議会の共催、県情報産業協会の協賛。授業目的公衆送信補償金等管理協会(SART-RAS)の助成を受けた。1次審査を通過した5個人・団体が最終審査に臨んだ。

募集テーマは「みんなの

みんなのみらい賞を受けており、「前回より良い賞を目指したい」と抱負を述べた。鈴木さんの作品は原発の廃炉作業を巡るロボットのプログラム。

会津大の吉岡廉太郎教授が審査委員長を務め、発想、表現、技術の各能力を評価した。開会式では主催者を代表して福島民報社の円谷真路事業局長があいさつした。表彰式で吉岡教授、福島高専情報処理教育センターの島村浩さん、東日本計算セントラルの鷲弘樹社長が講評した。

▽県情報産業協会賞(絶滅救命チーム)△金谷獅音(大塚千聖、広野笑理(喜多方市・上三富小6年)△△△アイディア賞△蛭田亮(いわき市・菊田小6年)△福島民友新聞社賞△蛭田駿(いわき市・菊